

環境報告書 2011



かけがえのない地球を守るために

FDKグループ環境方針

FDKグループは、企業の事業活動に伴う環境保全への取り組みについて、国や地方の規制の対応のみならず、地球規模の視点で主体的に地球温暖化対策、廃棄物削減、化学物質の管理の徹底など行動しなければならぬと認識しています。今回は、富士通グループの一員として、企業の独自性を生かした環境経営を推進するために「FDKグループ環境方針」を改定しました（2010年5月改定）。

スローガン

FDKグループは自然を愛します かぎりある地球のために

理念

FDKグループは、環境保全への取り組みを経営の重要課題に位置づけ、お客様起点に立ち、お客様がご満足いただける電池製品、電子部品を開発・供給して、環境保全・省エネルギー・経済発展の3E (Environment・Energy・Economy) による持続可能な循環型社会に向けて貢献します。また、環境法や環境上の規範を遵守した公正な企業活動を通じて、社会的責任を果たします。

さらに、かけがえのない豊かな自然・美しい地球環境を次世代に伝えていくため、地域社会とのコミュニケーションはもとより、従業員一人ひとりの自他非分離の精神による環境保全活動への取り組みを継続します。

行動指針

1. 事業活動が地球にもたらす環境への負荷を把握し、製品のライフサイクルを通してこれらの負荷を低減する。
2. 有害物質の排除、製品使用時の省エネルギーや長寿命化など環境性能の向上による環境配慮製品の開発を拡充する。
3. 地球温暖化防止のため工場や事務所での省エネルギー対策や物流改善の推進などに取り組む。
4. 3R (リデュース、リユース、リサイクル) 活動により環境負荷を低減する。
5. 製品に使用される原材料、部品、梱包材などについてグリーン調達を推進する。
6. 環境法令の遵守、公害防止などのリスクマネジメントの強化を継続する。
7. 地域社会とのコミュニケーションを深め環境保全への取り組みに貢献する。

主な取り組み

FDKグループでは、海外を含むすべての生産拠点においてISO14001の環境マネジメントシステム (EMS) を構築しています。また2009年度からFDK国内生産拠点の環境マネジメントシステムを、富士通グループの環境マネジメントシステムへ統合して環境活動を展開しています。

2011年4月からは、2011年3月11日の東日本大震災の影響による電力不足の対応のため、新たに「節電対策委員会」を発足してピーク使用電力を15%削減するべく、すべての国内拠点で取り組んでいます。

トピックス

太陽光発電設備の設置 ＜FDKトワイセル＞



太陽光発電設備(システム容量120KW)を設置し、2010年12月に点灯式を行いました。年間約13.8万KWhを発電し、CO2換算で43.5トンの削減を予定しています。発電したエネルギーは、出荷するニッケル水素電池の初期充電などに使用しています。

キャパシタ搭載電気自動車の 走行テスト＜FDK湖西工場＞



SBS 静岡放送の「走れ! Made in 浜松～電気自動車に挑む町工場～」で、(株)Takayanagi社製の電気自動車にFDKのキャパシタを搭載した走行テストが放映されました。1分間の充電で3.5km、最高時速80kmを記録しました。

地球環境汚染防止管理レベル 「銅賞」＜FDKランカ＞



スリランカの中央環境機構・工業技術センター・BOI(投資庁)・モルトワ大学・清掃公社及びGeo Cycle社により、地球環境汚染防止管理レベルに関する審査が行われ「銅賞」を受賞しました。

環境活動をグローバルに強化する行動計画

FDKグループ第6期環境行動計画

2010年度から2012年度末までの3ヵ年計画である第6期環境行動計画では、気候変動問題や生物多様性などの環境課題を踏まえた計画としています。第6期環境行動計画からは、国内だけでなく海外工場を含めたグローバルな目標を設定して活動展開しています。

2011年度からは、新たにグループ会社となったFDKトワイセルとFDK鳥取を含めた目標設定を行い、活動を推進します。

FDKグループ第6期環境行動計画と2010年度の結果

項目	目標 (2010~2012年度)	2010年度目標	2010年度結果
環境配慮設計の 開発拡充	スーパーグリーン製品を3機種以上開発	・環境配慮製品 100% ・グリーン製品 10%以上	・環境配慮製品 100% ・グリーン製品化率 16%
	新規開発品の環境効率ファクター1.2以上を達成する	・基準・細則整備	・細則案作成中
地球温暖化防止	エネルギー消費CO ₂ 排出量を1990年度実績比で6%削減する	・2%削減 排出量44,055トン	・11%削減 排出量39,793トン
リデュース、リユース、 リサイクル(3R) 活動による環境負荷低減	化学物質排出量を2007年度実績比で10%削減する	・4%削減 排出量50.9トン	・23%削減 排出量41トン
	廃棄物発生量を2007年度実績比で20%削減する	・11%削減 発生量1,768トン	・27%削減 発生量1,456トン
グリーン調達の推進	製品の資源再利用率90%を維持継続する	・90%以上	・92%
	取引先のEMS構築率を向上する	・構築率90%	・92%
環境マネジメントの 運営強化	本社部門のEMS統合を推進する	・統合	・未統合
	FDK鳥取、FDKトワイセルと連携しEMS統合へ向けて活動する	・連携運営	・独立EMSにて運営中
地域社会との コミュニケーションの 深耕と生物多様性への貢献	地域社会と連携し環境貢献/社会貢献活動実施と生物多様性の取り組みを行う	・地域イベント参画 ・生物多様性保全の啓蒙 推進	・地域イベントに参加 ・ウエルカメクレーン作戦 に参加

地球にやさしい「製品の開発」

環境に配慮した製品

FDKグループでは、新製品開発時にデザインレビューを行い製品のつくりこみの重要な要素として環境面に関する評価（製品環境アセスメント）を行っています。さらに2004年度からは、「スーパーグリーン製品」の開発、2007年度からは環境効率ファクターの向上にも取り組んでいます。

無停電電源装置(DC-UPS)

「高出力」でかつ高温環境下でも「長寿命」の特徴を有する「新開発ニッケル水素電池(Ni-MH)」を採用したUPSです。①変換ロス②設置スペース③バッテリー交換頻度④待機電力の4つを削減しています。Ni-MH 寿命モード解析により、業界で初めてとなる「高精度寿命予測機能」の搭載を実現しました。

大容量リチウムイオンキャパシタ

充放電のサイクル寿命が長く、大電流の急速充放電が可能な蓄電デバイスです。余剰電力を蓄えておいて、必要なときに放電することで、電力の有効利用や安定供給が可能となります。高温環境下での使用も可能としています。

LEDランプ・電源

蛍光灯(40W・20W)の置き換えタイプの人と環境にやさしい照明です。蛍光灯と比較すると、約60%の省エネ及びCO₂排出量の削減効果が得られます。独自の特殊光拡散技術により、ドットパターンとグレア(まぶしさ)を解決しました。

省電力
・
長寿命



無停電電源装置
Ni-MH搭載DC-UPS

電力の
有効
利用



大容量リチウムイオンキャパシタ
EneCapTen®

CO₂
60%
削減



LEDランプ電源

循環型社会の構築

情報機器・電子機器のリサイクル事業

FDKグループは、資源型社会形成に向けた情報機器・電子機器のリサイクル事業も行っています。FDKエコテック(株)では、富士通りサイクルシステム(FRS)の中部リサイクルセンターとして使用済みパソコンなどの情報機器から資源をリサイクルすることで、資源を有効利用しています。



パソコンの解体作業

FDKエコテック(株) ホームページアドレス
<http://www.fdk-ecotech.com/>

地域社会とともに

社会貢献活動・地域とのコミュニケーション

地球市民の一員として「豊かな自然・美しい地球環境」を永遠に継続していくことを願い、社会貢献活動に取り組むとともに地域とのコミュニケーション向上に努めています。



浜名湖(静岡県)クリーン作戦 63名参加
 <湖西工場、FDKエナジー、FDKエンジニアリング>



浦富海岸・城原海岸(鳥取県)の清掃活動 190名参加
 <FDK鳥取>



仙岳山公園山林(中国廈門市)の清掃活動 78名参加
 <廈門FDK>



小学校での親子環境授業(群馬県) 2校 125名受講
 <FDKトワイセル>



親子乾電池教室(静岡県) 30名参加
 <FDKエナジー>

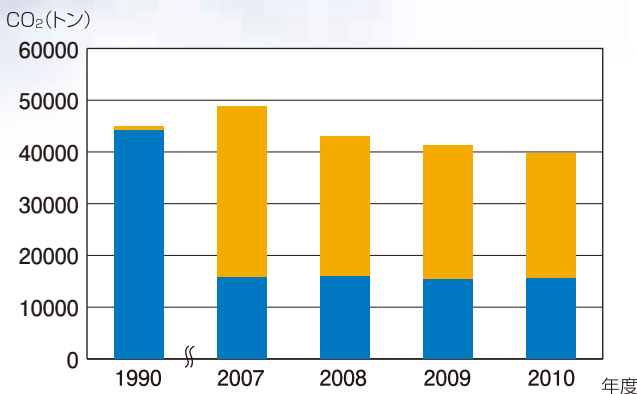


エコキャップ(ペットボトルのフタ)回収
 世界の子どもにワクチンを日本委員会へ寄附<FDK>

主な環境負荷データの推移

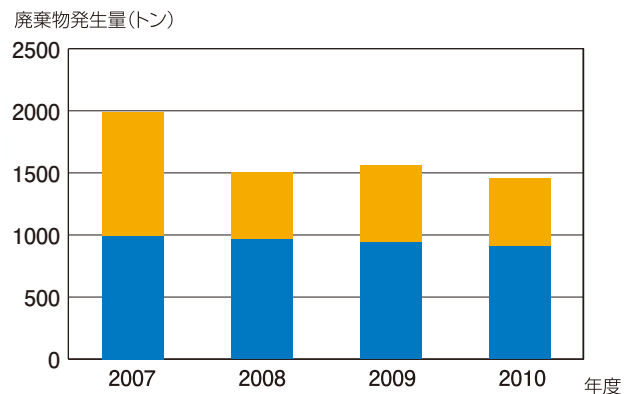
第6期環境行動計画の2010年度目標に合わせて集計対象拠点を見直しました。

エネルギー消費CO₂排出量



※ 電力量からCO₂への換算係数を見直しました。

廃棄物発生量



※ 有価物(有償売却した廃棄物)を除いた重量を示しています。



FDKグループは自然を愛します かぎりある地球のために

発行 / 2011年11月
 発行部署 / FDK株式会社 ビジネス支援本部 環境技術部
 お問い合わせ先 / 住所: 〒431-0495 静岡県湖西市鷺津2281
 TEL: 053-575-2506 FAX: 053-575-2560
 URL: <http://www.fdk.co.jp>

本報告書は、主に2010年度の環境活動と2011年度以降の計画をダイジェストとしてまとめたものです。

環境活動URL http://www.fdk.co.jp/kankyou/kankyou_index.html